

令和3年 3月

小田美紀子 学位論文審査要旨

主 査 南 前 恵 子
副主査 前 垣 義 弘
同 吉 岡 伸 一

主論文

Factors influencing psychological independence in adolescents and their relationship to coaching-based support from significant others

(青年期の心理的自立に影響する要因と重要他者からのコーチングに基づく支援との関連)

(著者：小田美紀子、吉岡伸一)

令和 3年 Yonago Acta Medica 64巻 34項～45項

参考論文

1. コーチングによる積極的認知対処・自然散策・温泉入浴によるメンタルヘルス対策への効果—自記式質問紙による主観的データの分析結果—

(著者：小田美紀子、藤田小矢香)

平成30年 日本医学看護学教育学会誌 27号 No. 2 29頁～35頁

審査結果の要旨

本研究は、社会的不適応の予防及び治療に役立てるため、大学・短期大学在学中の学生を対象に、青年期の心理的自立を促す重要他者を明らかにし、心理的自立の影響要因と重要他者からのコーチングに基づく支援と自尊感情、心理的自立との関連について検討したものである。その結果、心理的自立に最も影響を与えた重要他者は、男性は「母」「父」「友人」の順に、女性は「母」「友人」「父」の順に多かった。また、青年期の心理的自立には、性別、学年、専攻、現在の暮らしが影響要因となることが明らかとなった。さらに、重要他者からのコーチングに基づく支援は、男性、女性ともに、自尊感情を高め、女性では心理的自立の下位尺度全てを、男性では「自己統制」以外の尺度全てを促すことが示唆された。本論文の内容は、青年期の若者の心理的自立を促し、自尊感情を高めるうえで、重要他者からのコーチングに基づく支援の有効性を示唆するものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。